

はやた ゆうへい  
早田 侑平さん

鹿島建設  
株式会社



建設業界をめざす  
若者へ!

業務が多岐にわたり、いろいろなことが起こる建設業界の仕事は、ルーティンが苦手な人にもおすすめ。週末は趣味もたっぷり楽しめるし、今後さらに働きやすくなると思いますよ。

ある1日の業務フロー

- 7:30 出社
- 8:00 朝礼・危険予知活動
- 8:30 作業開始  
(現場巡視・開始状況チェック)
- 9:30 現場内詰所にデスクワーク  
(検査準備、作業計画、図面チェック等)
- 10:45 現場巡視  
(職長と進捗確認、打ち合わせ)
- 11:30 作業間連絡調整会議
- 12:00 昼休み
- 13:00 現場巡視
- 14:00 現場内詰所にデスクワーク
- 16:30 現場巡視(安全、養生確認)
- 17:00 事務所にてデスクワーク
- 退社



福岡県生まれ。長崎大学工学部工学科を卒業。2019年、鹿島建設株式会社へ入社。施工管理を担当。趣味はテニス・ゴルフ・釣り。

PROFILE

人の役に立つインフラづくり  
そのスケール、達成感は想像以上!

**担当工事の概要**  
 発注者：阪神電気鉄道株式会社  
 工事名称：阪神なんば線淀川橋梁改築工事の内土木関係主体工事(第4工区)  
 施工場所：大阪市此花区 淀川河川内中央～伝法公園西  
 工期：2018年7月25日～2024年3月31日  
 施工者：鹿島・前田・西松特定建設工事共同企業体



資材運搬等を行う台船で、現場の先輩・後輩と共に

河川内工事は濁水期の8カ月間のみ  
新卒の現場で「先手管理」を学ぶ

**就** 職活動の際、「スケールが大きく、目に見える形に残り、人の役に立つ職業」として土木の仕事を選んだ。新入社員として、この現場の立ち上げ時に配属され、4年目となる。洪水・高潮などの防災対策として行われる「阪神なんば線淀川橋梁改築工事」。全6工区のうち、区間延長490mの第4工区が、彼の働く現場だ。鉄道橋梁を架け替え、現在より7mかさ上げすると共に、川の流れを阻害する橋脚の数を減らすのが目的だ。

現場の大きな特徴は、すぐそばに電車の走る既設



協力会社からの信頼も厚い  
電車接近を知らせるノットライト

橋梁があること、そして、河川内については風水害の少ない濁水期(10月16日～6月15日)に橋脚を構築しなければならないこと。河川内では8カ月の工期を厳守する段取り、陸上では狭い空間での細かい搬入調整が必須。異なる条件のもと、着実な「先手管理」を心がけ、自分の考えと経験を橋脚造りに活かしている。

しかし、入社当初は「何もわからず」、一から十まで先輩に相談しながらの業務だった。失敗すれば、すぐ素直に謝り、リカバリしようと努めた。初めて担当した橋脚のコンクリート打設を終え、養生シートをめくり、仮設物を撤去すると「何もなかった川の中に1本、巨大な橋脚が建っていた」。そこには苦労や試行錯誤が詰まり、達成感の大きさは学生時代の想像を超えていた。

建設業界では、ICTの活用による生産性向上や、働き方改革が加速している。彼は入社当初から、先進の点群測量データを図面に落とし、3Dモデルを製作する作業に参加。また、現場のオリジナルWi-Fiやビジネスチャットなどの導入にも携わった。AR(拡張現実)を用いた3Dデータの作成は、自身がメインとなって進めている。

今後、設計業務も経験し、自分の現場を持つのが一つの目標、一つのゴールだと考えている。

誰よりも現場に詳しい  
「スーパー現場監督」になりたい

**担当工事の概要**  
 発注者：太陽ファルマテック株式会社  
 工事名称：太陽ファルマテック株式会社 高槻工場 厚生施設建設工事(地上3階、S造)  
 施工場所：大阪府高槻市明田町4-38  
 工期：2021年9月1日～2022年10月27日  
 施工者：大成建設株式会社



電子黒板を使って作業指示

デザイン性が高い設計の建築物  
施工の難しさを感じつつ着実に成長

**慌** ただしい仕上げ工事の現場で、ビジネスチャットや施工管理アプリを駆使し、連絡・指示を行う。「現場が好きです。仕事は楽しい、と感じながら働けば、どんなときも前向きになれる」と、少しはにかんだ笑顔で語る。

建設業を営む父の元で、幼少期から現場に親しんだ。入社後、東京で医療系複合施設、データセンター、大学関連施設の現場を経験。5年目の現在、大阪で企業の厚生施設の建設現場を管理する。多様な経験を持つが、「現場によって工法や進め方が全く違う。今回は、工事全般を幅広く担当していて、未経験のこと、学ぶことがいっぱいです」。現場ごとに環境・人も変わり、新たな技術や知識を吸収できる。いわば、東京ではスペシャリズム(専門業務)を学び、今は大阪でゼネラリズム(総合業務)を習得している最中だ。

この施設は体育館や社員食堂、多目的室などで構成されている。建築家・隈研吾氏と共に国立競技場を手掛けた社内部署による設計。張り出した庇、木材

の活用など、特徴的なデザインは「複雑で、難しく感じる人が多い」。屋根工事の進め方に悩んでいると、関連職種の職長が集まり、図面を囲んで知恵を出し合ってくれた。「たとえば屋根ひとつでも、足場の薦さん、屋根屋さん、下地の金物屋さんなど、多くの力が必要です」。力を結集して作業を進め、うまく仕上がれば格別の喜びが味わえる。

上司は「誰とでも親しく話し、職人さんにも慕われている。指示もポイントを押さえていて明確。あと、資格取得もがんばって」と注文する。施工管理技士、そして一級建築士にも挑戦する予定だ。その後の目標は、現場を熟知した「スーパー現場監督」になること。「経験、知識もまだまだですが、『岩本に聞けば間違いはない』と言われてもらえるようがんばりたいです」。



ICTを使って施工管理

完成予想図

建設業界をめざす  
若者へ!

建物ができる様子を間近に見ながら、そこに自分の工夫や考えを投影できる仕事。時間がたっぷりある学生時代、名建築を見学したり、資格を取ったり、有意義に過ごしてくださいね。

ある1日の業務フロー

- 7:30 出社
- 8:00 朝礼・危険予知活動
- 8:30 作業開始(現場巡視・チェック)
- 11:30 職員・職長との打ち合わせ
- 12:00 昼休み
- 13:00 昼礼・現場巡視
- 14:00 図面確認等のデスクワーク
- 15:00 職長と打ち合わせ
- 16:00 現場チェック
- 17:00 事務所にてデスクワーク
- 退社



福岡県生まれ。首都大学東京(東京都立大学)都市環境学部建築都市コースを卒業。2018年、大成建設株式会社へ入社。施工管理を担当。趣味はゴルフ・グルメ旅行。

PROFILE